

ボンマック BM-570 ミルの掃除

1 現在のペーパードリップの目盛りをわかりやすく表示する



適切な目盛りの位置は、必ずシールなどで表示

し、適切なきに挽いたサンプルの粉を保管する。

2 新聞紙を敷いて、粉の出口を掃除する

普段はこの2の掃除をこまめにしておく。

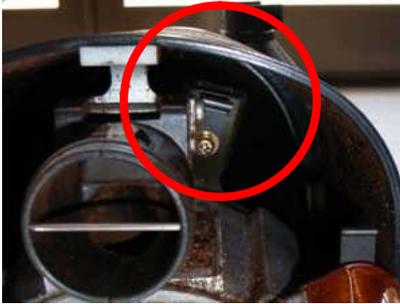


3 上のカバーを取りはずす

カバーをはずしてする掃除は、月1回か2月に1回くらいおこなう。

まず、調整レバーを抜く。

下の写真の赤丸の中のレバーを止めている「止めバネ」を、矢印の方向に指で押すと「止めバネ」が外れて、レバーを引き抜ける。



次に、本体裏側の止めネジをはずす。(もどすときにこのネジを締め忘れたり、締め方がゆるいと電源がはいらない。上カバーが固定されていないとモーターが回らない安全スイッチの役目がある)

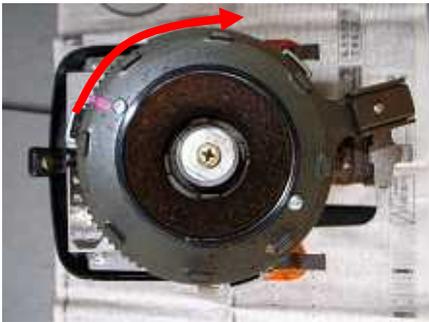
した写真の赤矢印のツナギ目は溝が切っており、元にもどすときに入りにくいので注意。



4 掃除のために上刃をとりはずす



調整レバーを時計周りにまわしていく。



はじめのうちはギザギザの

溝が赤丸の「止めバネ」に引っかかってガタガタ音をだして回るが、ギザギザがなくなってもまだまわす。すると、上刃カバーがはずれる。

(はずすときに、必ず上刃カバーを逆回転でもどす練習をしておく)



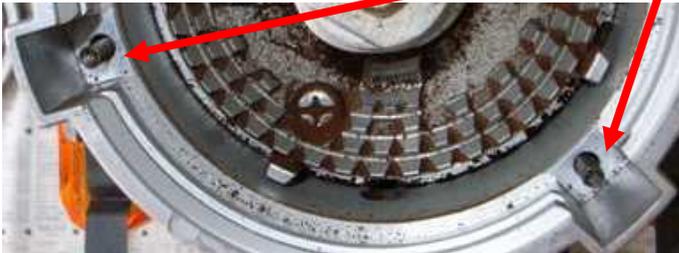
上刃カバーをはずすと下に「上刃」がある。



5 下刃のバネをはずす



下刃の3方に3本の「バネ」が埋まっています、上刃と下刃の間隔を調整している。



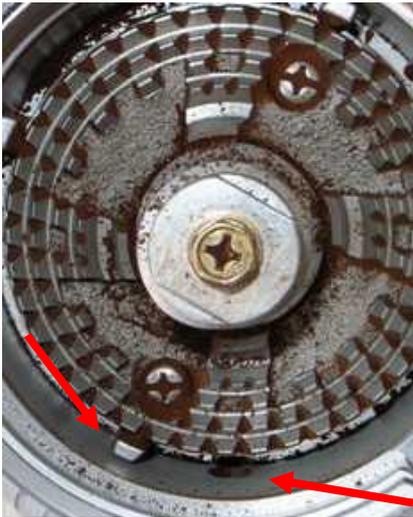
はずした「バネ」は絶対になくさないこと。

必ず組み立てなおすときにもどす。(なくしたり、忘れると粉の細かさの調節ができなくなる)



細かい粉をとる。

上刃、下刃ともに刷毛や歯ブラシで、刃の間の



赤矢印は粉の出口の穴。この出口の穴とそこへ粉を運ぶ羽部分を刷毛で掃除し、掃除機で微粉を吸い取る。同じように、上刃も掃除する。



